



⑭ 北諏訪区

凡例

- 市役所
- 出張所・総合事務所
- 居住誘導区域
- 都市機能誘導区域
- 地域自治区
- 人口分布 250mメッシュ
- R2年 総人口密度
- 40人/ha以上
- 洪水浸水想定区域
- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 0.5m以上～3.0m未満
- 0.5m未満
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 河川浸食
- 河川浸流
- 津波災害警戒区域
- 内水被害警戒箇所
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- ため池浸水想定区域
- なだれ危険箇所
- 垂直避難困難
- 垂直避難可能
- 要配慮者施設
- 水害緊急避難場所
- 土砂災害緊急避難場所
- 津波緊急避難場所

- 図中番号凡例
- ①-1 洪水災害(計画規模)
 - ①-2 洪水災害(想定最大規模)
 - ①-3 多段階浸水被害(降雨確率)
 - ② 土砂災害
 - ③ 津波災害
 - ④ 内水災害
 - ⑤ ため池災害
 - ⑥ なだれ災害

誘導区域内
誘導区域外

※災害ハザードのうち「①-3 多段階浸水被害」は図示していません。

○ 一定の災害リスクは存在するが、人口密度が低いエリア

表 災害リスクの整理 (⑭北諏訪区)

災害ハザード	災害リスク	含まれる誘導区域(*)			
		居	都	重	外
①-1 洪水災害 (計画規模)	区北部の住宅地や飯田川沿いの集落部において洪水による浸水被害のおそれがあり、垂直避難が困難なエリアが見られことから災害リスクが存在する。	●	—	—	●
①-2 洪水災害 (想定最大規模)	上記のエリアに加え、飯田川沿いの集落部において一部浸水深が0.5m以上～3.0m未満、家屋倒壊等氾濫想定区域に該当するエリアで、かつ高齢者人口割合が高いエリアがあり災害リスクが存在する。	●	—	—	●
①-3 多段階 浸水被害 (降雨確率)	ほぼ災害リスクは存在しない。 ※区西側の広い範囲で現況から中長期にかけて浸水深0.5m以上の浸水想定区域が広がるものの、特筆すべき災害リスクは見当たらない。 ※浸水深3.0m以上となる中低頻度以上の災害リスクは区内には見当たらない。	—	—	—	—
② 土砂災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
③ 津波災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
④ 内水災害	飯田川沿いの一部集落部において内水浸水実績箇所と高齢者人口割合が高いエリアとの重複が見られ災害リスクが存在する。	—	—	—	●
⑤ ため池災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	●
⑥ なだれ災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—

(*) 居:居住誘導区域、都:都市機能誘導区域、重:誘導重点区域、外:誘導区域外、—:該当なし

【居住誘導区域内の災害リスクについて】

区内に一部指定された居住誘導区域内において、洪水浸水被害が想定され、かつ垂直避難困難のエリアがあり災害リスクが存在する。